

事業所名

ありすの家こどもデイサービス博多

支援プログラム（参考様式）

作成日

8年

4月

1日

法人（事業所）理念		一人一人の人間性の成長にしっかりと目を向け、こどもが安全・安心で自分らしく過ごせる居場所として支援を提供し、こどもの自己肯定感や・自己効力感を高めていく。					
支援方針		①生きる力の育成とこどもの育ちの充実 ②家族への支援を通じたこどもの暮らしや育ちの安定 ③こどもと地域のつながりの実現 ④地域で安心して暮らすことができる基盤づくりの推進					
営業時間		10時	0分から	16時	0分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	来所時体温測定を行い健康状態を確認します。 基本的な日常生活動作の形成を支援していきます。					
	運動・感覚	感覚調整や運動能力の向上を図り、日常生活や学習活動における支障を軽減し、自己肯定感や自己効力感を高めていきます。					
	認知・行動	様々な道具を使って感覚・認知機能を高めていきます。					
	言語 コミュニケーション	表情や視線、細かな皮膚の動きを注意深く観察し、意志表出の手段を身に付けていきます。 他社とのコミュニケーションにおいて意思の伝達支援を行います。					
	人間関係 社会性	集団療育に参加し手順やルールを理解した遊びを一緒に行います。 外出を通して他社とのかかわりをもり、社会性を学んでいきます。 役割を持つことで（集団療育で当番制を取り入れる）個々の責任感を培っていきます。					
家族支援		連絡帳を使って情報交換を行っています。 その日の活動の様子は、ラインで写真をお送りしています。 体調変化や気になることがあれば、保護者へ報告しています。			移行支援	必要に応じて、就学相談や進路相談を行っています。	
地域支援・地域連携		地域の公共施設を利用し、地域資源を活用しています。 他の関係機関との連携をはかり、情報交換を行っています。			職員の質の向上	内部研修・外部研修への参加	
主な行事等		季節ごとの催し物（夏まつり・運動会・ハロウィンパーティー・クリスマスパーティーなど）や外出（お花見・九州場所・天神公園など） 防災センターや臨海3Rステーションなどの社会科見学					